



修士論文作成における心得  
—6つの心得—

経営学研究科M2

大石研究室

太田壮哉

# outline

- 修士論文目次(著者:太田壮哉)
- 修士論文作成の心得①
- 修士論文作成の心得②
- 修士論文作成の心得③
- 修士論文作成の心得④
- 修士論文作成の心得⑤
- 修士論文作成の心得⑥

# 修士論文目次

- 序章 顧客満足研究における本稿の位置づけと目的
    - はじめに—本稿の目的—
    - I. 顧客満足の概念
    - II. 本稿の顧客満足定義研究における位置づけ
      - 1. 顧客満足と顧客満足構築前の要素との関係
      - 2. 顧客満足と顧客満足後の要素との関係
    - III. 基礎期と応用期
  - 1章 顧客満足のメカニズム
    - —有用な期待水準の抽出—
      - I. 順応水準理論
        - 1. ホメオスタシス理論からの拡張
        - 2. 順応水準の形成要因
      - II. 認知的側面の顧客満足定義研究—1960年代～1980年代—
        - 1. 1種類の期待水準—1960年代～1970年代—
        - 2. 複数の期待水準—1970年代後半—
        - 3. 期待水準の選別—1980年代—
    - III. 3つの期待水準
    - IV. 顧客満足のメカニズム
    - V. 要約
- 2章 パーソナリティ要因による期待水準への影響
  - —各品質要素の重要度の観点から—
    - I. パーソナリティと各品質要素の重要度
    - II. カテゴリー・集団間における重視する品質要素の差異
      - 1. サブカルチャーにおける品質要素の重要度差異—縦の関係—
      - 2. サブカルチャーにおける品質要素の重要度差異—横の関係—
    - III. 各品質要素の重要度差異(パーソナリティ要因)から生じる期待水準への影響
    - IV. 要約—製品／サービス要因とパーソナリティ要因の機能
- 3章 期待値マネジメント
  - —マーケティング・コミュニケーションによる期待水準のコントロール—
    - I. 期待水準の更新
      - 1. パフォーマンス知覚による期待水準更新と期待水準の更新特徴
      - 2. 外部情報による事前期待水準の更新
    - II. SEとWEの期待水準更新パターン
    - III. WEの変動による顧客満足への影響
      - 1. 対比作用—
      - 2. 対比作用が生じる製品／サービス領域
    - IV. 時期により異なるWEの更新率
      - 1. 商品分類による外部探索量の違い
      - 2. 消費者が所有するWEとSEの数
    - V. 期待値マネジメント
      - 1. 新たなるマーケティング・コミュニケーションの位置づけ
      - 2. 期待値マネジメントの手順と手法
- 終章—本稿のまとめと今後の研究課題—
  - 参考文献

# 修士論文作成の心得 —前提—

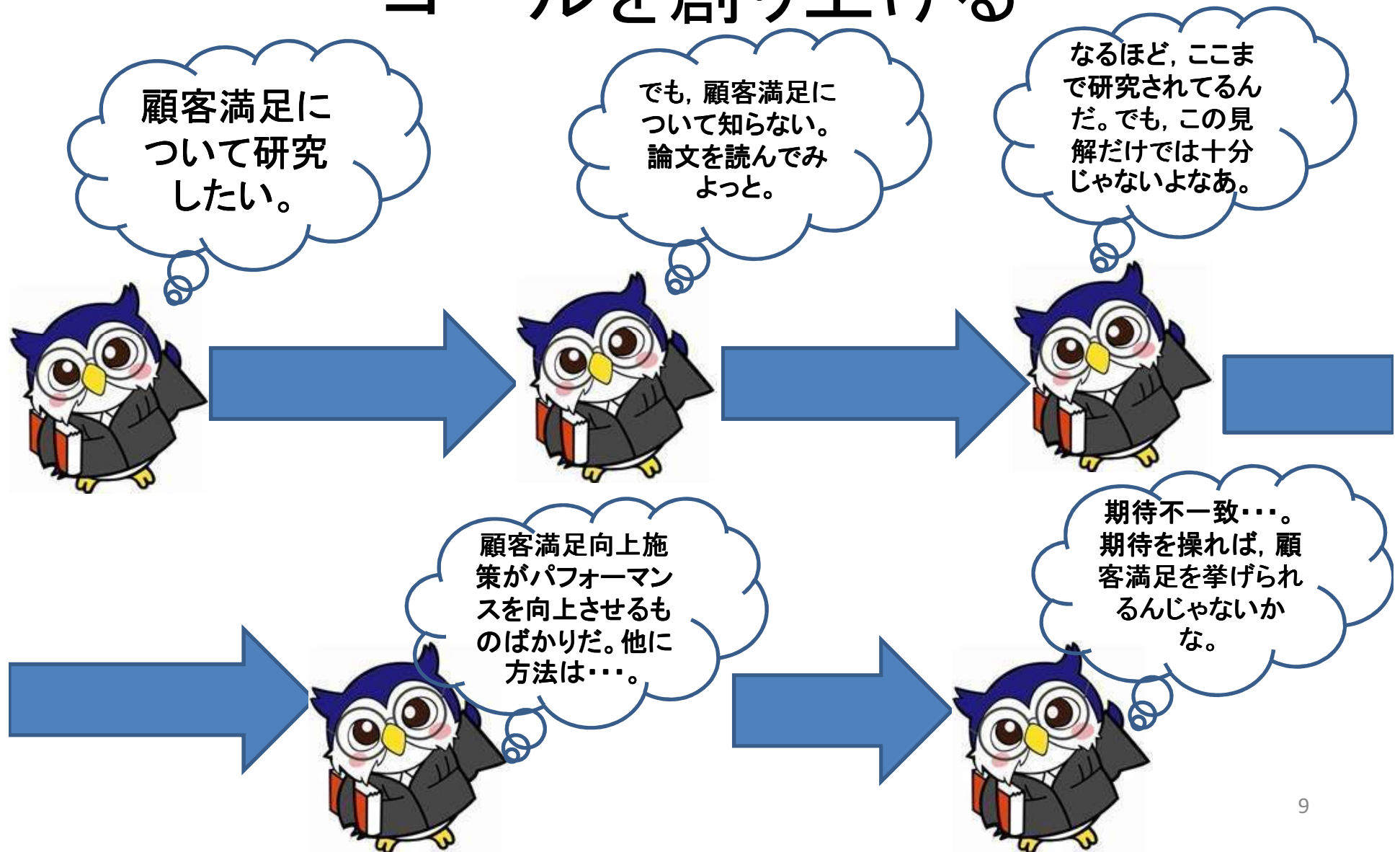
テーマは絶対に変えないこと

経験しているからこそ  
言えるのです。



# 修士論文作成の心得①

## —ゴールを創り上げる—



# 修士論文作成の心得①

## —補足—

- ブランド，物流，顧客満足，BOPであれ，それぞれの研究領域は広い。でも，その当該領域におけるさまざまな論文を網羅することは後々役に立つ。



# 修士論文作成の心得②

## —大まかな構成を設定する—

1章.....

2章.....

3章.....

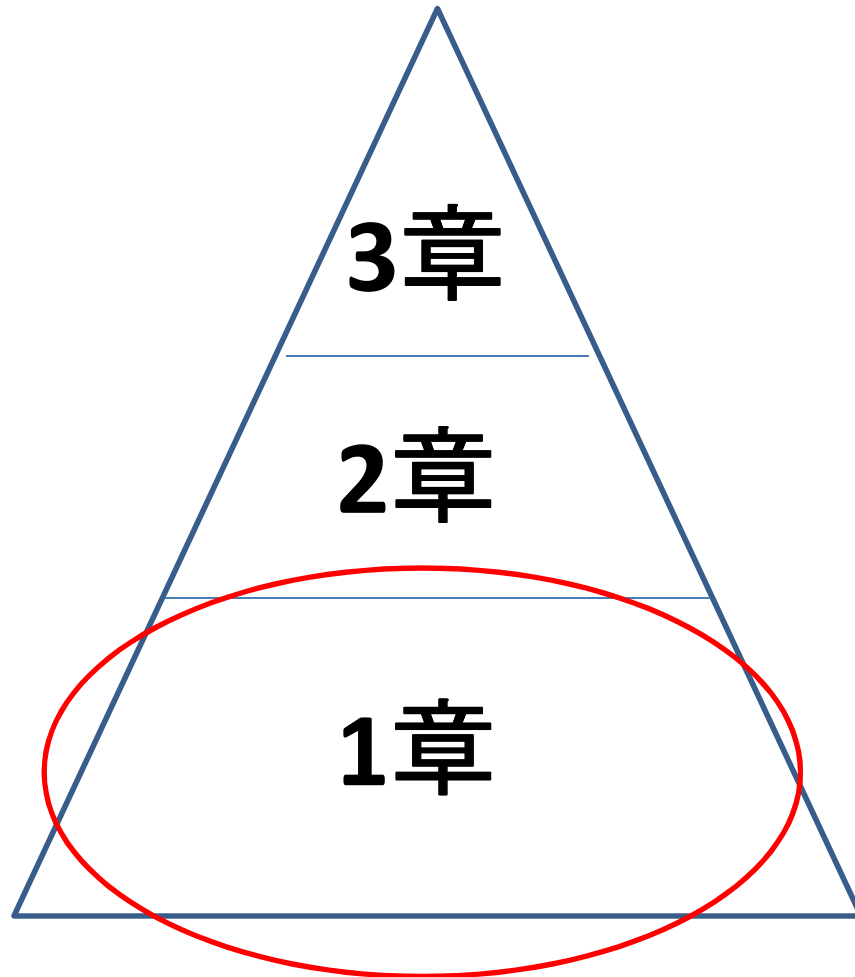
4章.....

大まかでいいので  
す。細かく設定して  
も途中で必ず変わ  
ります。



# 修士論文作成の心得③ —BOPを築き上げる—

太田の修士論文ピラミッド



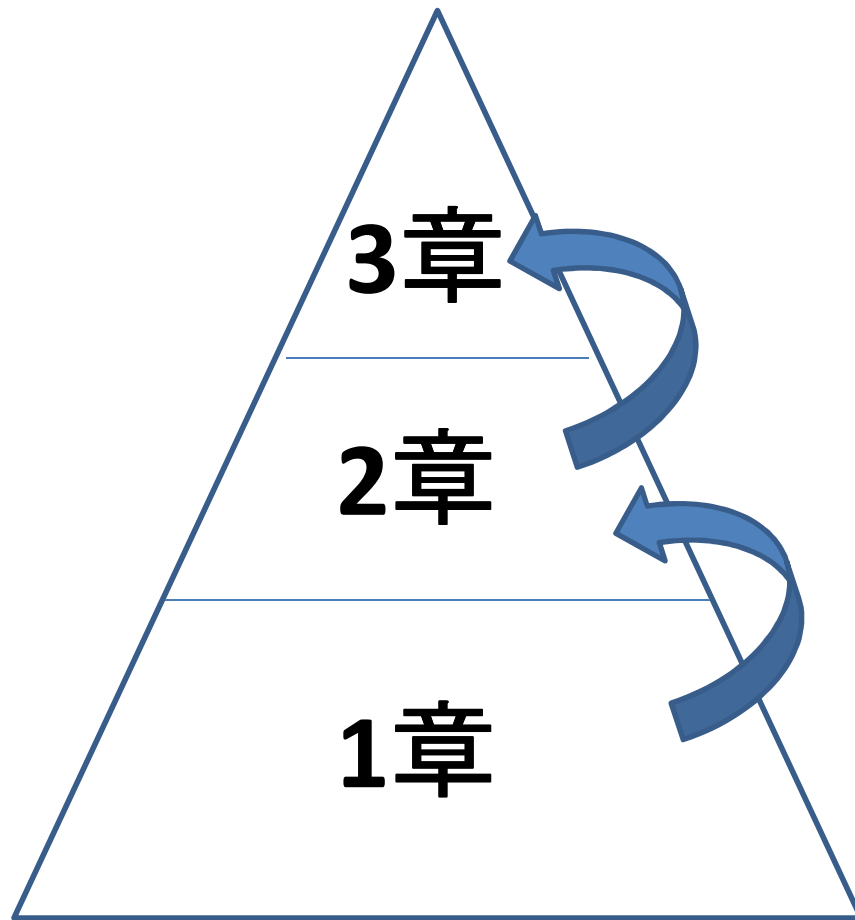
BOPが一番重要な  
です。研究論集に提出  
するものはBOPのもの  
から出しましょう。





# 修士論文作成の心得④

## —順番に書いていく—



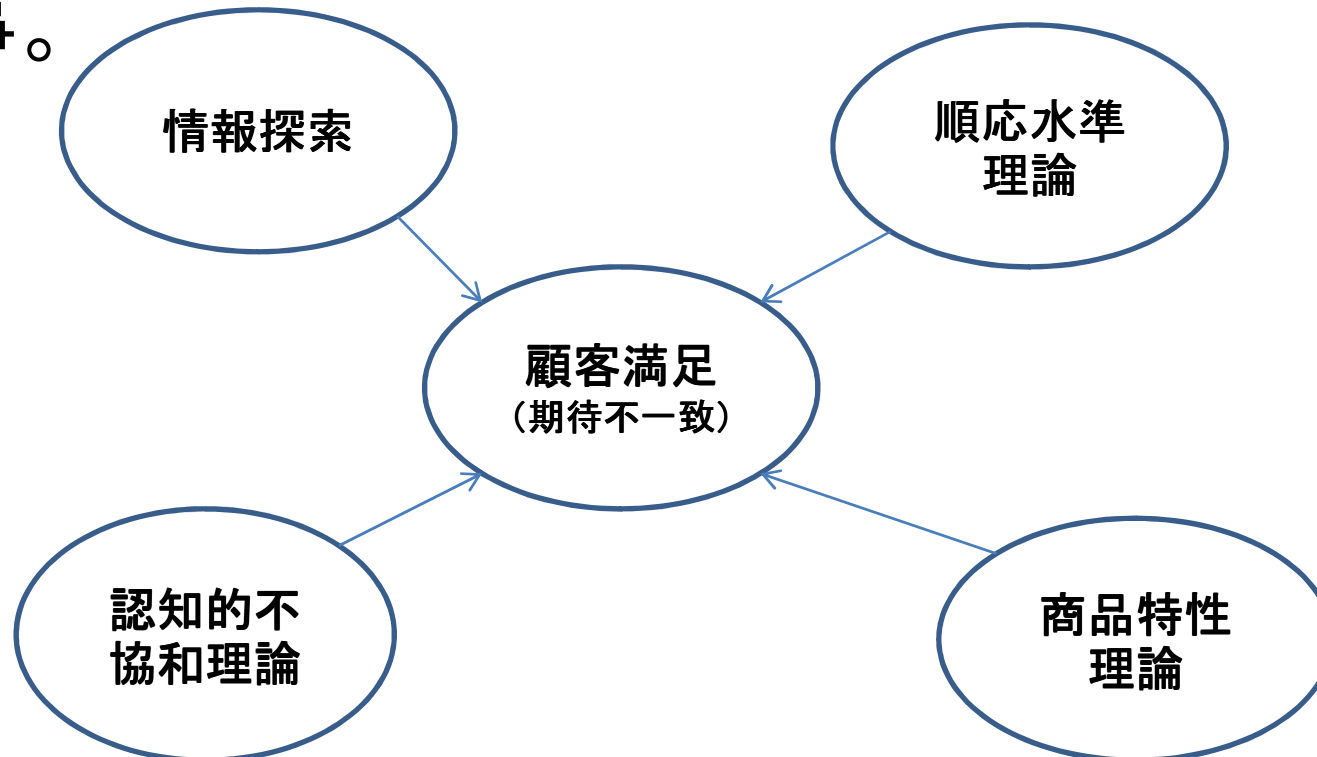
1章が終わったら、2章に取り掛かり、2章が終わったら3章に取り掛かろう。



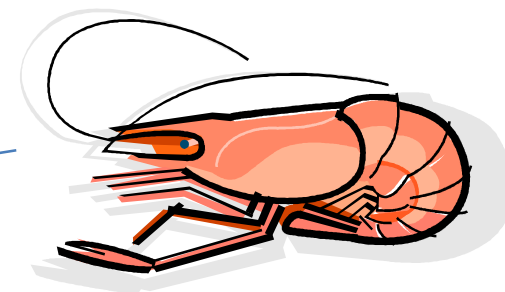
# 修士論文作成の心得⑤

—インプリケーションを常に考慮する—

- 自分の研究に関係ある論文だけ読んで論文は書けない。他の分野から関係のありそうなものを引っ張ってきてミックスさせることが大事。



# 論文と料理は一緒



# 修士論文作成の心得⑥

## —他の人の意見を否定しないこと—



中間報告は大事な機会。自分が気づかなかった視点を気づかせてくれる。



# まとめ

- 心得① ゴールを創り上げる
- 心得② 大まかな構成を設定する
- 心得③ BOPを築き上げる
- 心得④ BOPから上へ順番に書いていく
- 心得⑤ インプリケーションを常に考慮する
- 心得⑥ 他の人の意見を否定しないこと

# 最後に

- 修士論文提出時について

**印鑑を携帯していきましょう**